

日本骨髄バンクによる骨髄移植3000例到達のお知らせ

骨髄バンクを介する非血縁者間骨髄移植は、本日9例実施され、累計例数が3000例を超え3005例（*注）となりましたのでお知らせいたします。当財団は1991年12月18日、白血病などの血液難病患者さんの救命を目的に設立され、1993年1月28日に第1例目の骨髄移植が実施されて以来、移植第1例から7年10カ月目に3000例となりました。移植件数は毎年着実に増加しており、今年は年間約700例と予測され、昨年比26%もの大幅増加となっています。なお、これまでの骨髄移植成績では、欧米諸国との比較において優位に良好な成績が得られています。こうした成果は、ドナーとなられた多くの方々の献身的行為であり、国民の皆さまのご理解ご協力の賜物であります。心から厚くお礼申し上げます。骨髄移植数は今後も増加していくことが予想されますが、年間約1500人にのぼる患者さんの4割程度の方々にしか、移植のチャンスが提供できていないことも事実であり、また、いまだにドナーの見つからない患者さんが約2割もおられます。このため、ドナー登録者目標数を30万人とし、3年間でその目標を達成すべく、より一層の普及広報活動の推進やキャンペーン登録会の開催などに取り組んでおります。しかし、最近ではドナー登録者数の増加が極端に低調な状態のため、全国的なキャンペーン活動を企画している他、一人でも多くの患者さんが骨髄移植できるよう、コーディネート期間の短縮化を図るとともに、ドナー安全対策の強化などに全力をあげて努力しております。今後とも、国民の皆様のお一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

*注）件数には、国際協力の127例（海外のドナーから国内の患者への骨髄移植86例、国内のドナーから海外の患者への移植41例）も含まれています。

理事長 小池 欣一